男子６６ｋｇ級

準決勝戦第１試合

３寺居　高志　　腕挫十字固　　○３武末　大藏
(旭化成)　　(東芝)
右組み同士の対戦。武末は開始早々の２０秒に後腰で寺居に有効を奪われるも、１分４５秒、この日３度目となる腕挫十字固を極め、逆転の一本勝。

準決勝戦第２試合

３望月　健次○　　小外刈　　３藤山　順臣
(セコム)　　(熊本刑務所)
左右のケンカ組み手の両者。左組みの望月が藤山を一方的に攻め、１分２２秒に指導１を奪った後、２分２２秒に小内刈で一本勝。

決勝戦

３武末　大藏　　優勢勝　　⊖３望月　健次
(東芝)　　(セコム)
左組み同士の対戦。武末は開始早々から盛んに動き回り、寝技になると関節技を執拗に狙うが、望月はこれを冷静にさばいて容易に隙を与えず。逆に、望月は２分６秒、組み際の攻防で、武末が左に回り込もうとするところを右小外掛で崩し、そのまま武末を押し込んで技ありを奪う。
続く３分１７秒にも、同様に回り込もうとする武末を、右から支釣込足気味に振って横転させて有効を奪う。リードを広げた望月が、その後も安定した試合運びを見せて勝利を決定する。望月、嬉しい初優勝。